



## 東京学芸大学附属高等学校 第21回 公開教育研究大会のご案内

皆様方には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、第21回公開教育研究大会を以下のとおり開催いたします。新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、芸術科は対面形式、それ以外の教科はオンライン形式で実施させていただくこととなりました。是非、多くの教育関係者の皆様にご参加いただき、ご意見、ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

### 1. 主題

「観点別学習状況の評価を活かしたカリキュラム・マネジメント

～いま問われる学習評価と学校の在り方～」

今年度から本格実施となった観点別学習状況の評価について、本校で今まで行ってきた研究成果を今年度の実践を含めて共有し、今後の評価のあり方、改善の方向性について検討していきたいと考えています。学習評価を行う上で、各教科・科目における生徒の学習状況を把握すること、学校としてカリキュラム・マネジメントを推進することが喫緊の課題と感じています。また、カリキュラム・マネジメントを進める中で、いま学校が求められている生きる力の育成に向けて、総合的な学力をどのように身につけさせればよいかについて研究していきたいと考えています。

### 2. 日時・内容

令和4年11月5日（土）

午前に芸術科の公開授業（対面形式）を、午後に全教科の研究協議会（芸術科は対面形式、それ以外の教科はオンライン形式）と、講演会（対面形式、オンライン形式の両方）を行います。芸術科以外の教科の研究授業は、事前に参加者の方へ動画配信します。

9:30～	10:00～10:50		11:00～11:50		12:45～14:45		15:00～17:00
受付	公開授業Ⅰ （芸術科）	休 憩	公開授業Ⅱ （芸術科）	昼休み	研究協議会 （全教科）	休 憩	講演会

※芸術科の公開授業・研究協議会に関して、新型コロナウイルス感染拡大による中止はありません。ただし、芸術科の公開授業は感染症の状況や天候により、内容が変更になる場合があります。変更する場合は、直前または当日のご連絡に事前になります。あらかじめご了承ください。

公開授業

※芸術科以外の教科の研究授業は、動画配信します。視聴には事前申し込みが必要です。

教科	科目	授業者	授業タイトル	授業概要
国語	現代文B	日渡 正行	評論單元における「主体的に学習に取り組む態度」評価の試み	三年現代文B、尼ヶ崎彬「姿——日本のレトリック」を読む。授業前後の変容と最終的な振り返りの中から生徒の主体的な取り組みを読み取り、評価につなげていく。
地歴公民	世界史A	小太刀 知佐	世界史探究を見据えて～帝国主義を理解する～	新科目として始まる世界史探究を見据え、諸資料の活用や問いを意識した授業作りを模索する。
数学	数学I	木部 慎也	相関係数を見直そう	相関関係を軸に、統計的探究プロセスを繰り返し回す活動を行う。単元計画における授業、レポート、試験の位置づけを、「指導と評価の一体化」の観点から提案することを目的とする。
理科	生物基礎	小境 久美子	学びを社会へつなげる —「遺伝子とそのはたらき」ゲノムを題材に—	「遺伝子とその働き」の単元は、日常生活や社会との関連が見出しやすい一方で、生命科学の急速な発展により、多くの情報に戸惑う場面も少なくない。様々な情報を受け止め、主体的に判断・意思決定していくため、ゲノムの違いを客観的にみる態度を養う。
	地学基礎	齋藤 洋輔	地学基礎における「指導と評価の一体化」を目指したカリキュラムづくり(2)～生徒の主体性を育てるための評価～	2年前の本校第19回公開研にて同タイトルで提案しました内容の続編です。今年度より新学習指導要領が始まり、どのようなカリキュラムづくりのもと、授業・評価をしているのか、生徒の成果物なども含めて、より具体的に提案致します。
芸術	音楽I	居城 勝彦	日本歌曲を味わおう	同一の詩をもとに作曲された日本歌曲を、曲想と音楽の構造などに着目して比較鑑賞することから始める。そして、演奏家への問いかけから各自が楽曲理解を深め、歌唱表現に活かしていく活動を試みる。
	工芸I	神田 春菜	人々の生活を心豊かに演出しよう～キャンドルスタンドの制作～	使い手の気持ちや使用場面など、社会的な視点に立って表現及び鑑賞の活動に取り組む題材です。生活を心豊かに演出するために工芸作品に求められるものは何かを鑑賞の中で考え、それを軸に制作に取り組んでいきます。
	書道I	荒井 一浩	米芾の書風を捉えよう	五島美術館の学芸員を共同授業者として招聘し、博学連携による鑑賞活動を主体とした授業を試みる。美術館での作品に付せられるキャプションがどのように作成されるかを事例を通して学び、書風の把握を意識したキャプション作りを行う。
外国語(英語)	コミュニケーション英語II	光田 怜太郎	知的にチャレンジな言語活動の試み	英語を身につけるためには実際に授業内で英語を用いる活動が重要であるが、それらの「活動系」は英文読解に比べ難易度が低く力がかからないと思われる節がある。本授業では力のつく言語活動のあり方を模索する。

研究協議会

12:45～14:45

※芸術科は対面形式、それ以外の教科はオンライン形式で実施。

教科	研究テーマ	提案者	助言講師	所属
国語	国語科のこれまでの蓄積と観点別学習状況の評価	日渡 正行	浅田 孝紀	駿台学園中学・高等学校教諭 早稲田大学非常勤講師
地歴公民	地歴科・公民科における観点別評価の実践と課題	地理歴史科 公民科	藤野 敦	文部科学省初等中等教育局視学官
数学	観点別学習状況の評価の充実と深い学びの実現に向けた単元計画 —単元「データの分析」に焦点を当てて—	数学科	長尾 篤志	東京学芸大学先端教育人材育成推進機構特命教授
理科	学びを充実させるための観点別学習状況の評価	理科	三石 初雄	東京学芸大学教育インキュベーション推進機構名誉教授

芸術 (音楽)	音楽文化として日本歌曲を取り上げる際の教材化の視点	居城 勝彦	石崎 秀和	東京学芸大学教育学部音楽演劇講座 音楽分野准教授
芸術 (工芸)	観点別学習状況の評価の課題 ～主体的に学習に取り組む態度に着目して～	神田 春菜	尾澤 勇	秋田公立美術大学美術学部美術学科 教授
芸術 (書道)	博学連携と観点別学習状況の評価	荒井 一浩	徳泉 さち 佐々木 佑記	日本大学文理学部准教授 五島美術館学芸員
外国語 (英語)	高校生の知的好奇心にあった長文読解と言語活動に適した英語教材について考える。	光田 怜太郎	金谷 憲	東京学芸大学教育学部名誉教授

**講演会 15:00～17:00** ※対面形式、オンライン形式の両方で実施。

テーマ 「新教育課程における観点別学習状況の評価～資質・能力の向上にどう活かすか～」

講師 市川 伸一 先生

(東京大学名誉教授、帝京大学中学校・高等学校校長補佐、中央教育審議会教育課程部会副部長、児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ主査)

### 3. 後援 東京都教育委員会

### 4. 参加申込

本大会(公開授業および講演会)への参加申し込み受付は、<https://forms.gle/zCbv3quHANFDLZxEA>にて10月30日(日)まで受け付けております。

### 5. 本校へのアクセス

- 電車**
- ・東急東横線「学芸大学」駅下車 徒歩 15分
  - ・東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車 徒歩 20分

**バス(東急バス)**

- ・【渋谷駅】南口から「渋32 野沢龍雲寺循環」行き
- ・【目黒駅】西口から「黒06 三軒茶屋駅」または「黒09 野沢龍雲寺循環」行き
- ・【三軒茶屋駅】から「黒06 目黒駅」行き
- ・【祐天寺駅】から「黒06 三軒茶屋駅」行き

※いずれも「学芸大学附属高校」下車 徒歩1分

### 6. その他

参加費は無料(資料により実費をいただく場合もあります)。

ご来校される方に関しまして、お弁当の準備はできませんので、必要な方は各自でご用意ください(お食事をする部屋をご用意いたします)。なお、学校周辺に飲食店はありませんのでご注意ください(コンビニ等の商店が数軒、少し離れたところにあります)。

問い合わせは、下記までお願いいたします。

東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5

TEL: 03-3421-5151 (代) FAX: 03-3421-5152

E-mail: gaku-ken@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp

担当: 研究部 松本 至巨

# 案内図

徒歩順路  
 バス順路

